

こうしき わ な きょうぎせつめい 公式輪投げ 競技説明

がいよう 【概要】

- 輪^わ投げ^なは、得点板^{とくてんばん}の棒^{ぼう}に輪^わを入^いれるゲームです。
- 輪^わを入^いれられた棒^{ぼう}の得点^{とくてん}を競^きいます。

ようぐ 【用具】

- 輪^わ投げ^な台^{だい}
- 投げ^な輪^わ

あそびかた 【あそびかた】

だんどくとうりんほうしき • 単独投輪方式

- ① 9本の^{ほん}リング^{りんぐ}をつづ^{つづ}けて投^なげる。片手^{かたて}で持^もち、ライン^{らいん}の手前^{てまえ}から投^なげます。
- ② ポール^{ぱーる}に入^{はい}っていないリング^{りんぐ}が、プレー^{ちゅう}中にポール^{ぱーる}に入^{はい}った場合は得点^{とくてん}とします。
- ③ リング^{りんぐ}が入^{はい}ったボール^{ぼーる}の数字^{すうじ}の合計^{ごうけい}を総得点^{そうとくてん}とします。ただし、縦^{たて}・横^{よこ}・斜め^{なな}が一列揃^{いちれつそろ}った場合は30点^{てん}とし、すべてのポール^わに輪^わが入^{はい}った場合は300点^{てん}とします。

こうごとうりんほうしき • 交互投輪方式

- ① じゃんけん^かで勝^{はう}った方が先攻^{せんこう}、負^まけたほうが後攻^{こうこう}となり、1回^{かい}ずつ投^なげる
- ② アンカーリング^おを置^{さい}く。その際^{とうりん}、投輪^{ふきん}ライン^{とうりん}付近^{ししょう}の投輪^{ばしょ}に支障^おのない場所^おに置^おく
- ③ 4本^{ほん}ずつ投^なげ終^おわり点^{てん}数の低^{ひく}いプレーヤー^{けん}にアンカー権^{あな}が与^{どうてん}えられる。同点^{ばあい}の場合はアンカー権^{けん}がない。
- ④ 1試合^{しあい}3セット^{おこな}で行^まい、負^{こうこう}けたほうが後攻^{こうこう}になる。